

西幼稚園の新しい園舎が完成



▲完成した西幼稚園の園舎

市立西幼稚園の改築工事が完了し、4月20日、新園舎の竣工式を行いました。老朽化していた旧園舎の耐震性が低かったため、現在地で建て替えました。

新園舎は鉄骨造平屋建ての453㎡で、工事費は約1億8,500万円。敷地の南側に配置することで日当たりを良くし、保育室や廊下などの内装に木材を多く使って明るく温もりのある雰囲気仕上げました。

竣工式には、園児23人やその保護者など約40人が参加。古本節郎園長が「子どもたちの元気な声が響く素敵な施設になりました」とあいさつし、年長組の園児が園歌を披露しました。

市は安全な教育環境を整備するため、

学校施設の耐震化を進めています。今回、西幼稚園の改築工事が完了したことにより、全ての市立幼稚園が耐震化しました。現在、進めている第三中学校での新校舎の建設と既存校舎の改修が終われば、市内の全学校施設の耐震化が完了します。

市は今後も、子どもたちが安全に安心して学ぶことができる環境づくりを進めていきます。

教育振興課

☎0848・67・6152

大和町で水道の給水区域を拡大

市は、大和町で簡易水道が利用できる区域を拡大し、先月17日から給水を開始しました。新たに給水する大具・下徳良地域の一部で全戸が加入した場



▲新たに整備された新和木浄水場

合、約120戸の230人が水道水を利用できるようになります。

給水区域を拡大するため、大和町和木に敷地面積約3,000㎡の浄水場を新たに整備しました。この新和木浄水場で棕梨川から取った水を急速ろ過機でろ過、消毒し、1日最大900㎡を送水します。

給水開始に併せ、新和木浄水場で行われた通水式で天満祥典市長は、「安全でおいしい水を市民の皆さんに提供し、暮らしやすいまちづくりにつなげたい」と話しました。

市は、今後も安心・安全でおいしい水道水を市民の皆さんに届けることができるように、給水区域の拡大や水質の適切な管理に努めていきます。

水道部管理課

☎0848・64・2242

元気な三原へイオンと地域連携協定

市とイオン株式会社は先月20日、市の活性化と市民サービスの向上をめざし、両者が連携して事業を行う協定を締結しました。今後、情報発信や観光振興、健康福祉の増進、子育て支援など幅広い分野で協力し、両者の資源を活用して事業を進めます。

まず、イオン三原店内に広報みはら



▲市の活性化と市民サービス向上のためイオンと協力して事業を行います

や各種パンフレットを置くラックを設置し、来店者に市政情報を発信します。

また、イオンで「三原うきしろWAO」を発行し、全国の加盟店でそのカードを使って支払われた金額の一部を、市の「みはら三原ふるさと夢基金」に寄付するとともに、三原商栄会連合会と連携し、地域共通ポイントカード事業を推進するなど、地域商業の活性化にも取り組んでいきます。

同日、店内で行われた締結発表では、天満祥典市長が「イオンとしっかり手を組み、元気な三原づくりを進めたい」と話し、山口聡一・イオンリテール取締役専務執行役員も「互いの特色を生かし、市民サービスの向上につなげていきたい」と応じました。

経営企画課

☎0848・67・6270